

学生確保の見通し等を記載した書類

北海道教育大学大学院教育学研究科共同学校教育学専攻
大阪教育大学大学院学校教育学研究科共同学校教育学専攻
福岡教育大学大学院教育学研究科共同学校教育学専攻

資料目次

資料 1	3 大学の特色を活かした共同教育課程の構想	2
資料 2	共同学校教育学専攻における教育課程の構造・特色	3
資料 3	教職大学院生向け 博士課程についてのアンケート（結果）①②③	4
資料 4	博士課程進学セミナー参加者のアンケート（結果）	7
資料 5	博士課程進学セミナー案内	8
資料 6	令和 6 年度新設科目「臨床的研究入門」	10
資料 7	育成する人材のキャリアパス①②③④⑤	14
資料 8	博士課程設置に係る教育委員会からの要望書	16

資料 1 3大学の特徴を活かした共同教育課程の構想

3大学の教育研究上の特色



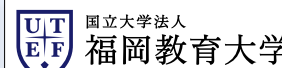
日本最大・東日本最大規模の教員養成単科大学

- 5キャンパスによる連携体制
- へき地・小規模校教育の推進
- 個別最適な学び



西日本最大規模の教員養成単科大学

- 教員養成フラッグシップ大学
- 複数の私立大学との連合教職大学院の設置
- ダイバーシティ教育



九州地区最大規模の教員養成単科大学

- 九州教員研修支援ネットワーク事務局設置
- 特別支援教育
- 学校適応支援

教員養成における深い経験知

共通点

- ・ 教員養成の広域拠点的作用
- ・ 教職大学院による実践型教員養成の実施
- ・ 遠隔地や他組織との連携による教育研究等の先導

目指す姿

- ・ 教育現場の今日的課題の解決とそのため教員養成改革や教員研修改革
- ・ 学校教育学の修得を通じた教育養成学の体系的な構築

● 単科の教員養成大学の中でも大規模である
3大学が全国を縦断するネットワークを構築

● 個々では成し得ない、「教員養成単科」「遠隔」「共同」だからこそ成し得る養成体制の実現

共同設置

- ・ 教学共創マネジメントセンター
- ・ 特別支援教育センター



・ へき地・小規模校教育研究センター

・ 未来の学び協創研究センター

・ 教員養成イノベーション機構

全国を縦断するネットワークによって、全国的な教育課題に対応

養成する人材像

- ① 教員養成大学・学部において必要とされる臨床的な研究力と教員養成に対する学識をともに備えた**教員養成担当教員**の養成
- ② 教育現場での実務経験を学部や教職大学院での教員養成に活かすことのできる**実務家教員**の養成
- ③ 教員の資質向上と学校組織マネジメントに貢献する**教員研修の専門家**となる能力を持った人材の養成

北

全国的な教育課題

南

共同学校教育学専攻

共同ネットワークラボによる研究指導

臨床発達教育科学分野

子供の発達の視座や教育科学の知見から学校教育に係る諸課題の背景を分析すると共に、「臨床的研究」により諸課題の解決方法を導き出す

臨床教科学分野

教科専門と教科教育の教育研究を融合させ、教科の教育成果を高めるために必要な条件等を明らかにし、その成果を学校という臨床の場で活用して教科に係る諸課題の解決方法を導き出す

学校教育学

発達支援領域

教育実践領域

学校支援領域

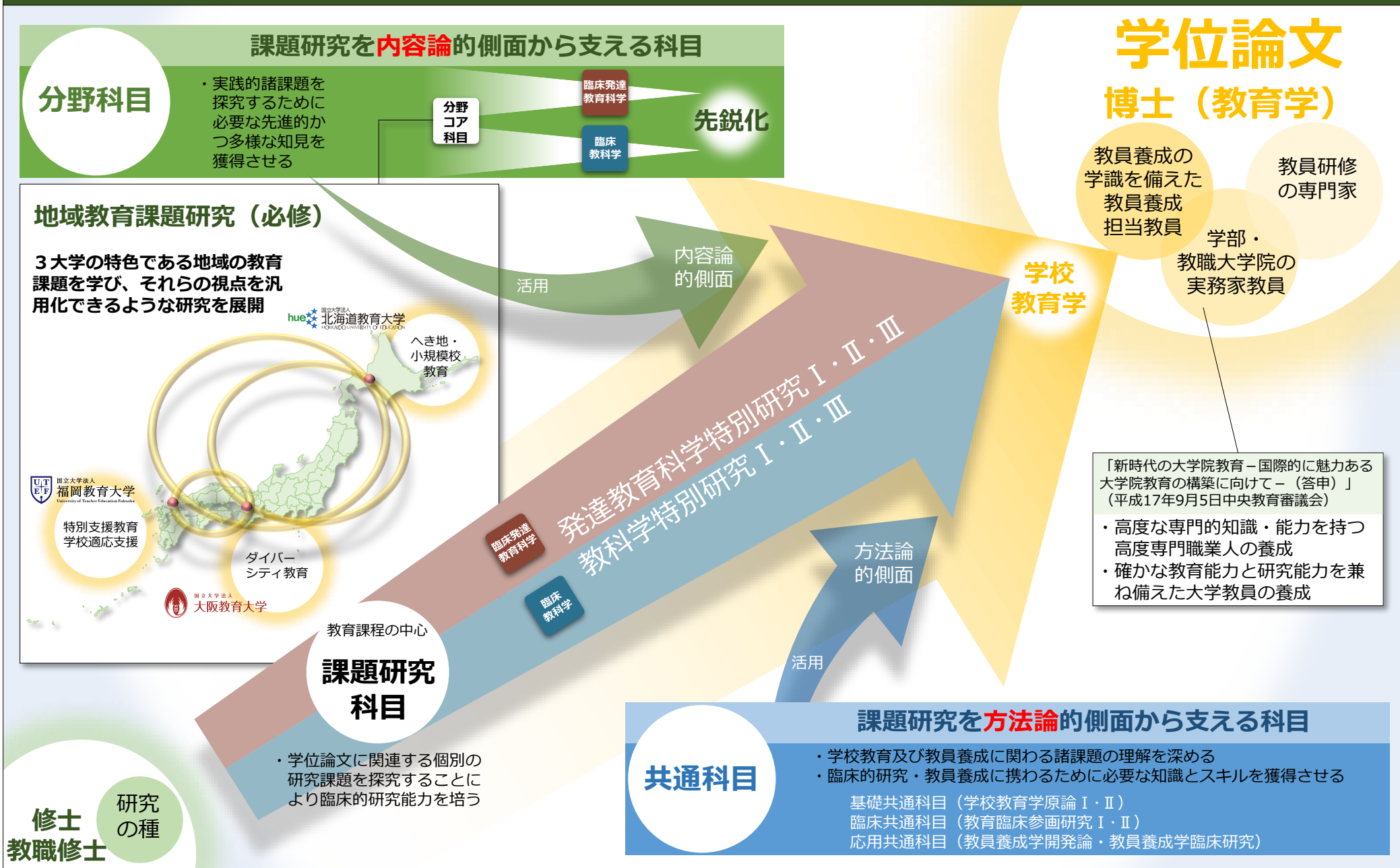
分野コア科目

地域教育課題研究

全国的な教育課題にも対応しうる知識とスキルを養成

- 教員養成系博士課程における臨床的研究の充実
- 『令和の日本型学校教育』の実現
- 学校教育学の修得の中で教員養成学の体系的な構築

資料 2 共同学校教育学専攻における教育課程の構造・特色



資料3 教職大学院生向け 博士課程についてのアンケート（結果）①

【実施時期】 令和5年3月～4月

【対象】 教職大学院M2（令和4年度）

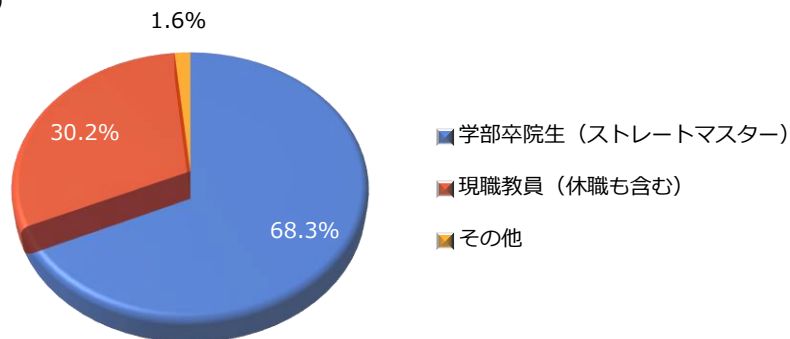
【アンケート序文】 北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学が連携し、博士課程の設置を準備中です。この博士課程は、学校現場の様々な課題を解決するための高度な研究スキル、実践スキルを育成することを目的としています。博士課程修了後の進路は、教員養成大学・学部の大学教員や、指導的立場の初等・中等教育および特別支援学校の教員等を想定しています。これは教育系大学・学部で、教員養成を担う人材を養成することへの期待に応えるものです。ついては、教職大学院の在学学生・卒業生を対象に、博士課程についての考えをお聞きしたいと思います。アンケートの回答は皆さんの成績や評価には影響しません。回答には5分程度の時間を要しますが、ご協力をお願いします。

教職大学院院生向け 博士課程についてのアンケート

(63件の回答)

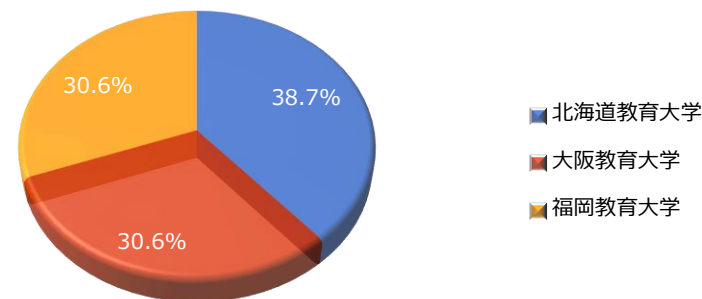
問1 あなたは、学部卒院生（ストレートマスター）でしょうか、それとも、現職教員（休職も含む）でしょうか。

(63件の回答)



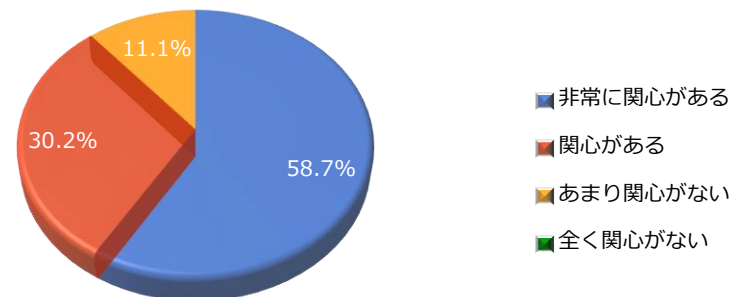
問2 あなたの教職大学院のご所属を教えてください。

(62件の回答)



問3 本学は、教育現場の課題を解決するために理論に根ざした高度なスキルのさらなる向上や教育実践の探求を身につける博士課程を構想しています。これについてあなたのご意見を以下の中から一つ選んでください。

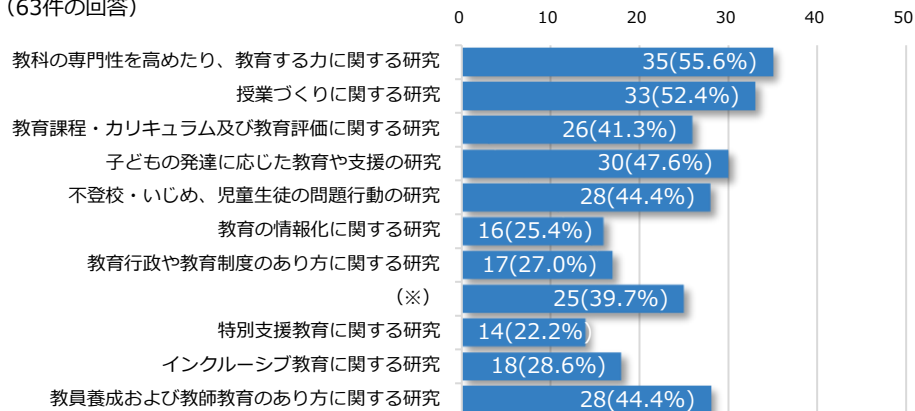
(63件の回答)



資料3 教職大学院生向け 博士課程についてのアンケート（結果）②

問4 博士課程では、以下のようなテーマで、他大学と連携し、授業を履修し、博士課程で探求する内容を博士論文としてまとめます。以下の教育課題の中であなたが、関心のあるテーマを選んでください。現時点で進学されるお考えがない方も、進学されることを想定してご回答ください（複数回答可能）。

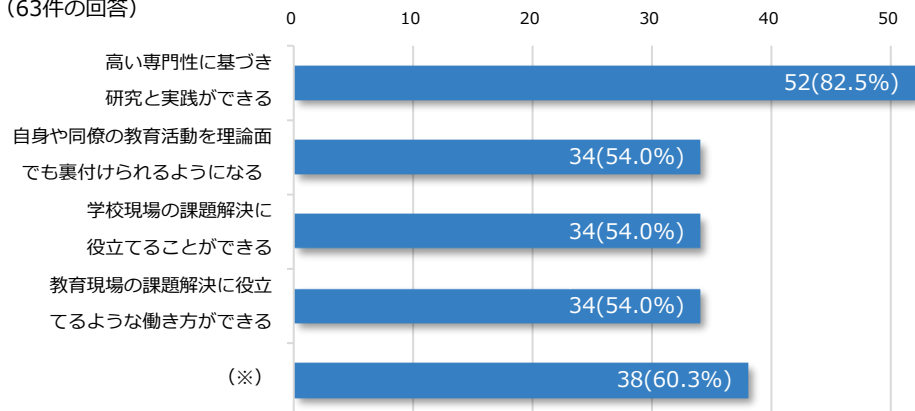
(63件の回答)



(※) 学校経営をはじめ、教育や支援の体制づくり・組織づくりに関する研究

問5 あなたが博士課程に進学すると仮定した場合、博士課程に学び、学位を取得することの魅力として考えられるものを選んでください（複数回答可能）。

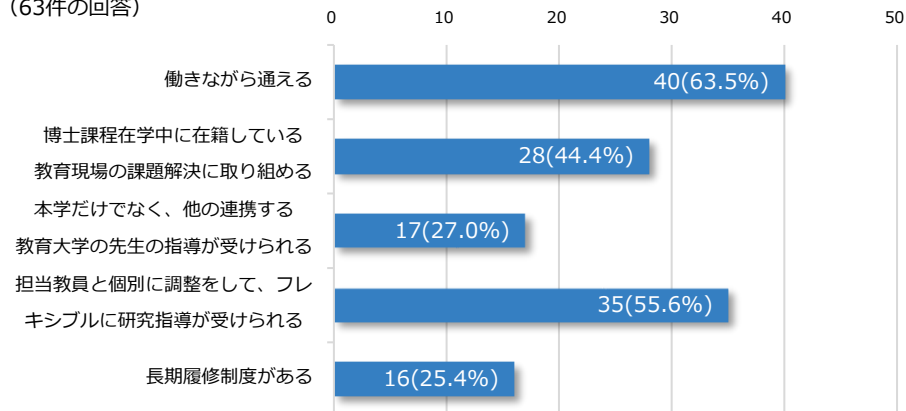
(63件の回答)



(※) 博士号取得後、教員養成大学に勤務するなど、今とは違った立場で教育に関わることができる

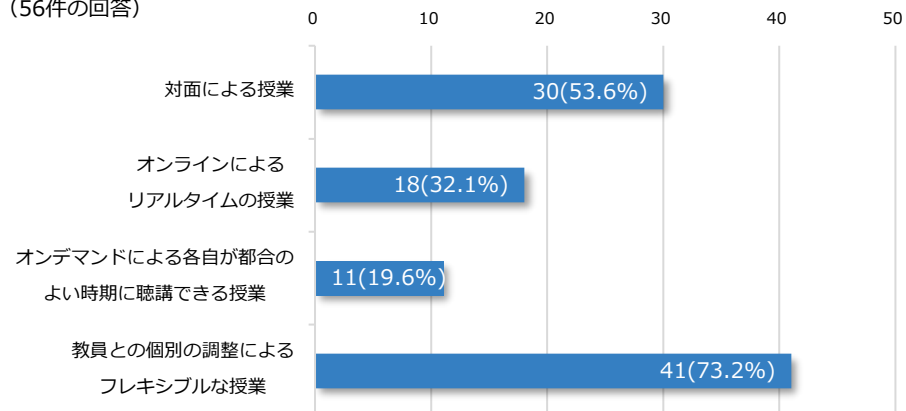
問6 あなたが博士課程に進学すると仮定した場合、重視することとして考えられるものを選んでください（最も重視するものから2つまで回答可）。

(63件の回答)



問7 問3で、博士課程に「とても関心がある」「関心がある」と回答した方に質問します。どのような授業形態が適切だと思われますか？（好ましいものから2つまで回答可）

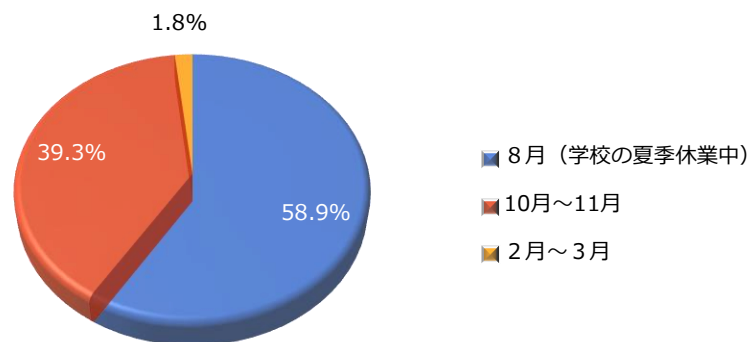
(56件の回答)



資料3 教職大学院生向け 博士課程についてのアンケート（結果）③

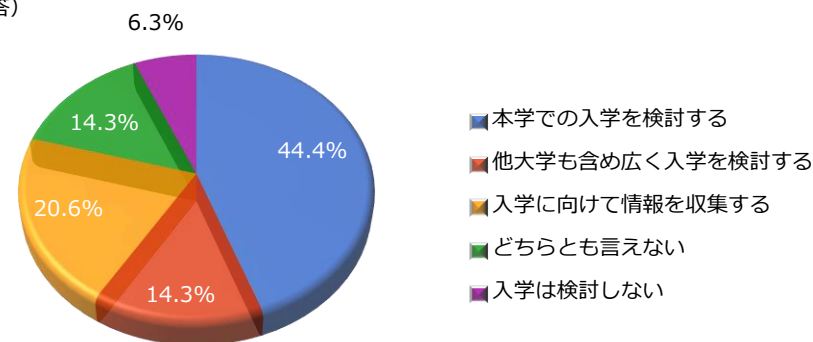
問8 問3で、博士課程に「とても関心がある」「関心がある」と回答した方に質問します。入学試験を行う時期については、いつ頃がよいと思われませんか？（1つのみご回答ください）

（56件の回答）



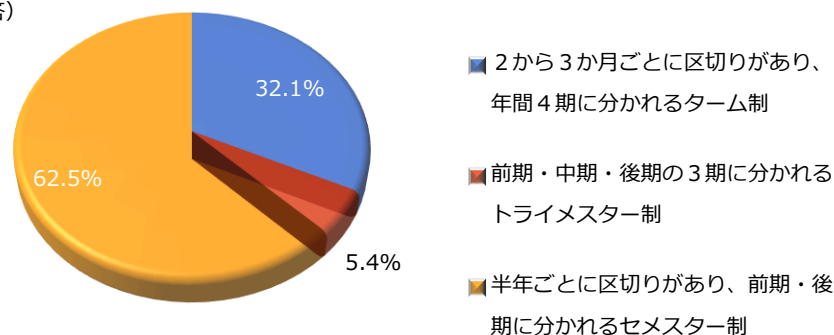
問10 あなたは、本学に博士課程が設置された場合に、入学を検討したいと思いますか？最も近いものを1つ選んでください。

（63件の回答）



問9 問3で、博士課程に「とても関心がある」「関心がある」と回答した方に質問します。博士課程で学ばれる場合の学期の区分や長さは、以下のうちどれがよいと思われませんか？（1つのみご回答ください）

（56件の回答）



アンケート結果の概要

37名：「非常に関心がある」

27名：「設置が計画されている博士課程への入学を検討する」

24名：博士課程についての追加的な調査について協力する
（※個人用メールアドレスを記載）

関心のある研究テーマ（複数回答）：

35名：「教科の専門性を高める」

33名：「授業づくり」

30名：「子どもの発達に応じた教育・支援」

28名：「教員養成・教師教育のあり方」、「不登校、いじめ、問題行動」

資料4 博士課程進学セミナー参加者のアンケート（結果）

【博士課程セミナー】90分の動画視聴（参加登録者数 115名）

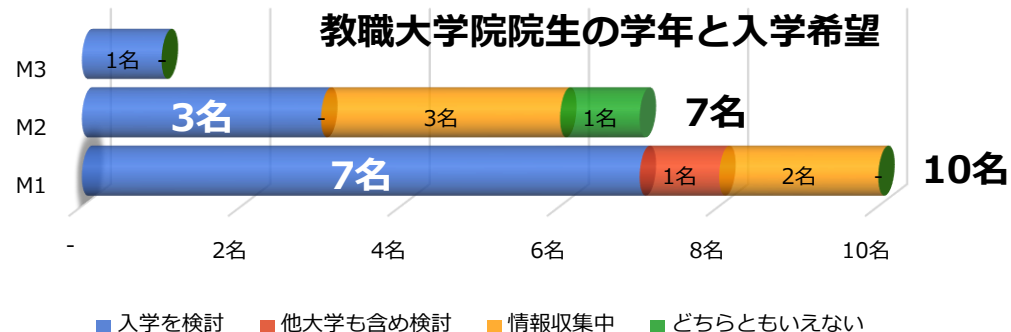
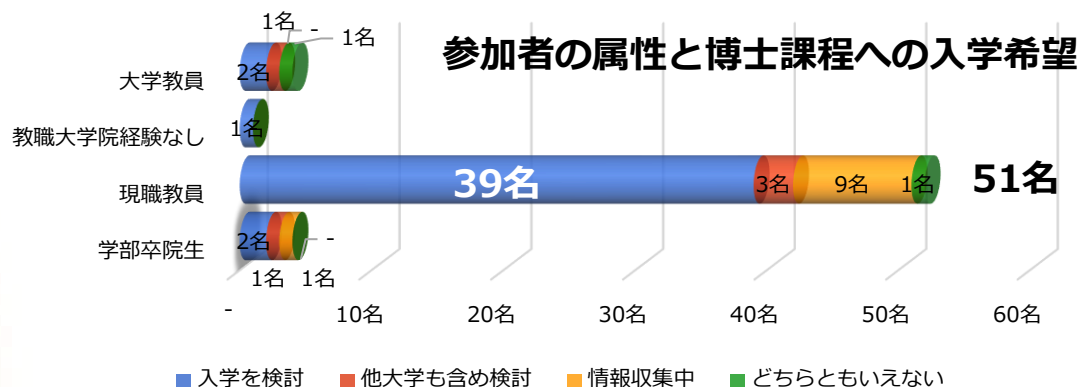
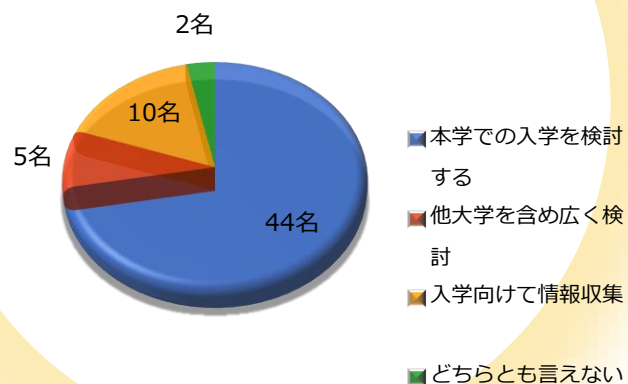
- ① 構想している博士課程の説明と研究について（30分）
- ② 児童生徒の発達を支援する場合（30分）
- ③ 授業研究する場合（30分）

動画視聴を経て、令和5年11月23日（祝）17時～18時30分まで開催

- 内容
- ・ 動画の要約と説明（30分）
 - ・ 参加者の意見交換会（40分）
 - ・ 質疑応答（15分）、アンケート回答（10分）

当日の参加者 79名（内、アンケート回答者 61名 →さらに40名が「話をしても良い」と連絡先メールアドレスを記入）

Q. 構想している博士課程への入学を検討しているか？
→61名中、44名が「入学を検討する」と回答



博士課程進学セミナー

日時：令和5年11月23日(祝)17時～18時30分

方法：オンライン(Zoom)によるWEB開催

対象：学校教育の臨床研究方法や、
学校教育に関する博士課程進学に
興味のある方ならどなたでも

申込：研修用WEBサイト(OKUTEP)への
受講登録(「★参加方法」参照)をもって、
申込となります。[※切:11月23日当日]

■ 目的

北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学において、学校教育学に係る博士課程(後期3年のみ)を共同で設置する予定です(令和7年度設置構想中)。これに関連し、学校教育の諸課題に対し臨床的研究を行うことの重要性や、研究方法(データ収集, 分析, 発表)について、理解を深めていただくためのセミナーを開催します。あなたも、教育を臨床的に研究できる研究者・博士レベルの高度職業人のキャリアをめざしてみませんか。ぜひご参加ください。

■ 内容

(1) 研修用WEBサイト(OKUTEP)登録後、オンデマンド教材を事前視聴していただきます。

- ① 博士課程の説明と研究について 大阪教育大学大学院教授 水野 治久
- ② 児童生徒の発達を支援する場合 福岡教育大学大学院教授 西山 久子
- ③ 授業を研究する場合 北海道教育大学大学院准教授 川俣 智路

(2) 11月23日(祝) 17時より、Zoom会議にて3大学共同によるセミナーを開催します。

- ① 相互交流と意見交換
- ② 博士課程の3大学共同設置構想について
- ③ 大学別(地域別)にフォローアップ・まとめ

★ 参加方法

当セミナーでは、研修用WEBサイト(OKUTEP)からオンデマンド教材の事前視聴やZoom会議へ参加、意見入力等をしていただきます。裏面を参照のうえ、事前の受講登録をお願いします。



国立大学法人
大阪教育大学



国立大学法人
福岡教育大学
University of Teacher Education Fukuoka

★ 参加方法

当セミナーでは、研修用WEBサイト（OKUTEP）から、参加いただけます。以下を参照のうえ、事前登録と参加をお願いします。

[1] OKUTEP サイトを開く

検索サイトで「OKUTEP」と検索、またはURLを入力し、開きます。

【<https://okutep.osaka-kyoiku.ac.jp>】



[2] 新規ユーザー登録（OKUTEPを初めて利用される方のみ）

1. OKUTEPトップページの **【新規登録】** をクリックします。
2. プライバシーポリシーと利用目的のタブから内容を確認し、ページ下部の **【私はプライバシーポリシーに同意します。】** をクリックします。
3. 新規ユーザー登録のページで必要な情報を入力し **【新しくユーザー登録をする】** をクリックします。
4. 正しく登録できると、登録したメールアドレスに確認メールが送付されます。

新規ユーザー登録

新しいユーザー登録のヘルプページはこちらからアクセスしてください

ユーザ名

パスワードには少なくとも8文字、少なくとも1個の数字、少なくとも1文字の小文字、少なくとも1文字の大文字を入力する必要があります。

パスワード

メールアドレス

メールアドレス (もう一欄)

姓

名

都道府県

国

国を選択する

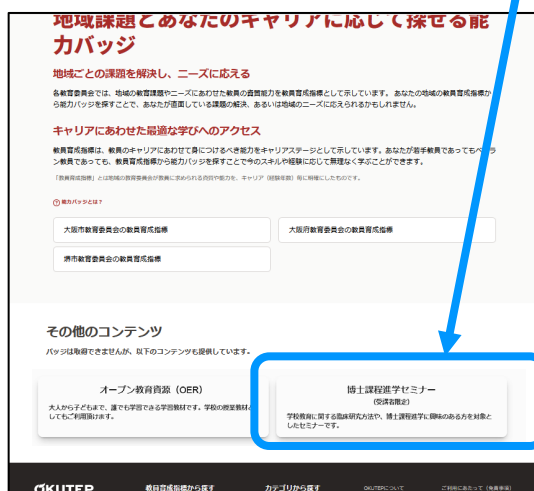
必須入力

[3] メールの確認

1. 登録したメールアドレス宛てに以下の内容の確認メールが届きます。
差出人: このメールアドレス宛てに返信しないでください(OKUTEP)
件名: OKUTEP: ユーザー登録の確定
2. メールを開き、**「あなたの新しいユーザー登録を確定するには以下のウェブアドレスにアクセスしてください。」**と指示されているアドレスをクリックして開きます。
3. ウェブページが表示され、登録が承認された旨が表示されます。
【続ける】 をクリックすると、トップページが表示されます。

[4] セミナーページの受講登録をして参加

1. トップページ最下部までスクロールし、**【その他のコンテンツ】**にある**【博士課程進学セミナー】**のバナーをクリックします。



2. 「2023年度 博士課程進学セミナー」をクリックし、自己登録（学生）の欄に以下の登録キーを入力し、「私を登録する」を押してください。

登録キー

自己登録 (学生)

登録キー

登録キーを入力すると能力バッジが獲得できます。

博士課程進学セミナーのページから、オンデマンド教材の事前視聴、当日のZOOM会議への入室ができます。セミナーページの記載に従って、ご参加ください。

問い合わせ先

(セミナーに関する問い合わせ) 各大学窓口まで
(OKUTEPに関する問い合わせ) 大阪教育大学 経営戦略課

資料6 令和6年度新設科目「臨床的研究入門」

シラバス詳細

タイトル「2024年度」、カテゴリ「教職大学院（共通）」

科目情報

科目名	クラス
臨床的研究法入門	001
担当教員	開講学期
水野 治久、森 兼隆	前期
開講時期	曜日・時限
T1	集中講義
講義室	科目種別
講義室A	研共
ナンバリング	科目区分
	要件外
単位区分	単位数
要件外	1
備考	直接参照URL
	https://shrike.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=202923017767&formatCD=1

講義情報

MoodleコースURL

担当教員の実務経験職名

キーワード

研究方法, 変数, 尺度, 量的分析, 統計的仮説検定

授業形態

講義	演習	実験	実習	実技
----	----	----	----	----

授業形式（授業担当教員が複数の場合）

オムニバス	班別指導	共同指導	その他
※			

遠隔授業科目

対象	遠隔授業科目
	学則第10条の2により認定された遠隔授業科目
	一部遠隔授業を併用する対面授業科目 (授業回数の半数を超えない範囲で遠隔授業を実施する科目)

到達目標

対象	到達目標
	到達目標（共通）
	・豊かな教養と広い視野
	到達目標（教員養成）
	・学校教育の基礎的理解
	・指導内容の理解と実践力
	・子どもへの対応の理解
	・養護実践力
	・教職力量を自らひらく力

対象	到達目標
	到達目標（教育協働）
	・教育理解
	・協働力
	・専門的知識・技能
	・教育協働実践力

【対象科目】 学習指導要領（幼稚園教育要領を含む）との対応

【内容】 学習指導要領（幼稚園教育要領を含む）との対応

臨床的研究は学校教育の課題を解決することを目的としているので、学習指導要領全体に関連がある。

授業の到達目標

教育現場の臨床的な課題に対し、先行研究のレビューに基づいた主題を定め、倫理に即した研究計画を立案する。最終的には論文を投稿できるレベルをめざす。この科目では、①学校現場の臨床的なニーズの把握、②研究推進のための文献検索・先行研究の方法の理解、③実践研究計画の立案、④研究倫理の理解と方法の把握、⑤研究データ（量的データ）の記述の仕方とまとめ方を取り上げ、学会発表できることをめざす。

授業の概要

本科目は、R7年度から設置が計画されている学校教育学研究科・共同学校教育学専攻・博士後期課程（北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学との共同設置）への進学を円滑にするために、臨床的な研究方法について解説する。なお一部の授業はオンデマンド動画を視聴しその感想を話し合う方法とする。

授業の計画（各回における準備学習・授業形態等を含む）

- 第1回 オリエンテーション 学校における「臨床的な研究」とは何か。教職大学院の学びとの比較をとおして（自身の実習現場における臨床的な課題をみつけて、報告できるようにしてください）
- 第2回 文献の検索の方法と文献の検索の実習（自分の関心のある研究テーマに関する専門の学会誌をみつけてください）
- 第3回 研究テーマの設定と、データの収集方法、リサーチクエッションの設定（独立変数・従属変数など）（関心のある研究テーマのリサーチクエッションについて考えてください）
- 第4回 量的な測定方法について 測定の方法、統計的仮説検定の論理（測定について、どのような尺度があるかインターネットで調べてください）
- 第5回 データ解析実習 フリーソフトで統計解析を体験する（授業前・後で統計ソフトの使い方について自主的に何度も取り組んでください）
- 第6回 変数間の関係性について 相関分析、重回帰分析（重回帰分析については、ダミーデータが良いので、ご自身で集計することを奨励します）
- 第7回 尺度作成について 尺度の信頼性・妥当性、因子分析（ご自身の関心のあるテーマについてどのような測定尺度があるか、調べ、リストアップしてください）
- 第8回 調査研究の論文の作成方法（調査研究の査読付き論文を5本、プリントアウト（PDFでもよい）してください）

履修にあたっての注意事項

臨床的研究法入門Ⅰと臨床的研究法入門Ⅱはなるべくセットで履修ください。

授業時間外の学習に関して

研究法の勉強は知識だけでなく使えることになる（研究できるようになる）ことが大事です。論文を読んだり、学会に参加することが奨励します。

アクティブ・ラーニングのための工夫

対象	アクティブ・ラーニング	内容
	(1)学生主体による学習形態の導入に関する工夫	ペアワーク、グループワーク、シグゾウ法、反転授業など
	(2)学生が主体的に行う活動を導入する工夫	展示や作品の制作、調査、観察、実験、ロールプレイ、ゲーミング、プレゼンテーションなど
	(3)教員と学生の双方向性の確保、課題設定の工夫	コミュニケーションカード、レポート、演習など
	(4)ツールの活用に関する工夫	クリッカー、e-learningなど

授業における工夫

対象	その他の工夫
	(1)ICTを活用した教育の導入
	(2)現代的課題への対応

成績評価の方法

授業中のリアクションペーパー（感想文）50%、授業後のレポート（50%）

テキスト

小宮あすか他 2018 Excelで今すぐはじめる心理統計 簡単ツールHADで基本を身につける 講談社

参考書・参考資料等

小泉令三他 2020 校内研究の新しい形：エビデンスに基づいた教育課題解決のために 北大路書房

問い合わせ先e-mail

オフィスアワー

事前に連絡をとってください
火曜日の夜
火曜日 17時～18時、21時10分～ 事前に予約を入れてください。

アクセシビリティ

大阪教育大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮が必要な場合は、担当教員または障がい学生修学支援ルームにご相談下さい。

ダイバーシティの観点に配慮した授業づくり

大阪教育大学では、ダイバーシティの観点に配慮した授業づくり・授業展開（ユニバーサルデザイン化）の実現をめざしています。

シラバス詳細

タイトル「2024年度」、カテゴリ「教職大学院（共通）」

科目情報

科目名	クラス
臨床的研究法入門II	001
担当教員	開講学期
水野 治久、寺嶋 浩介	前期
開講時期	曜日・時限
T1	集中講義
講義室	科目種別
講義室A	研共
ナンバリング	科目区分
	要件外
単位区分	単位数
要件外	1
備考	直接参照URL
	https://shrike.bur.osaka-kyoiku.ac.jp/lcu-web/SC_06001B00_22/referenceDirect?subjectID=202923017768&formatCD=1

講義情報

MoodleコースURL

担当教員の実務経験職名

キーワード

臨床的研究 質的分析 インタビュー

授業形態

講義	演習	実験	実習	実技
----	----	----	----	----

授業形式（授業担当教員が複数の場合）

オムニバス	班別指導	共同指導	その他
※			

遠隔授業科目

対象	遠隔授業科目
	学則第10条の2により認定された遠隔授業科目
	一部遠隔授業を併用する対面授業科目 (授業回数の半数を超えない範囲で遠隔授業を実施する科目)

到達目標

対象	到達目標
	到達目標（共通）
	・豊かな教養と広い視野
	到達目標（教員養成）
	・学校教育の基礎的理解
	・指導内容の理解と実践力
	・子どもへの対応の理解
	・養護実践力
	・教職力量を自らひらく力

対象	到達目標
	到達目標（教育協働）
	・教育理解
	・協働力
	・専門的知識・技能
	・教育協働実践力

【対象科目】 学習指導要領（幼稚園教育要領を含む）との対応

【内容】 学習指導要領（幼稚園教育要領を含む）との対応

臨床的研究は学校現場の課題を解決する研究であるので、学習指導要領全体に関連する。

授業の到達目標

教育現場の臨床的な課題に対し、先行研究のレビューに基づいた主題を定め、倫理に即した研究計画を立案する。最終的には論文を投稿できるレベルをめざす。この科目では、①学校現場の臨床的なニーズの把握、②研究推進のための文献検索・先行研究の方法の理解、③実践研究計画の立案、④研究倫理の理解と方法の把握、⑤研究データ（質的データ）の記述の仕方とまとめ方を取り上げ、学会発表できることをめざす。

授業の概要

本科目は、R7年度から設置が計画されている学校教育学研究科・共同学校教育学専攻・博士後期課程（北海道教育大学、大阪教育大学、福岡教育大学との共同設置）への進学を円滑にするために、臨床的な研究方法について解説する。一部オンデマンド講義となる。

授業の計画（各回における準備学習・授業形態等を含む）

- 第1回 オリエンテーション 学校の臨床的な課題に対する質的研究 *
 （学校現場における質的研究とはどのようなものが想定されるのか、量的研究との対比で発表できるようにしてください）
- 第2回 質的研究の方法 インタビュー、観察、参与観察
 （質的研究の方法について自分のイメージをまとめてください）
- 第3回 インタビューの方法（構造化面接、半構造化面接）
 （信頼できるインタビューとはどのようなものですが、ポイントを5つまとめてください）
- 第4回 記録のとり方と留意点
 （インタビューの記録の保存の仕方についての留意点をまとめてください）
- 第5回 データ分析の方法（概念とカテゴリー）*
 （質的研究についての論文を査読付き論文から選んで読んでください）
- 第6回 データ分析の方法（コーディング、サンプリング）*
 （データの分析がどのように論文に記載されているのか、リストアップしてください）
- 第7回 データ分析の方法（仮説の生成）*
 （質的研究はどのような結論に至るのか、ご自身のテーマに即した先行研究から抽出ください）
- 第8回 質的研究のまとめ方
 （ご自身の関心があるテーマの質的研究の査読付き論文を5本選んで、プリントアウトして読んでください）

*印の授業は一部、講義部分がオンデマンドとなる。その後演習となる。

履修にあたっての注意事項

臨床的研究法入門1を必ず履修してください。

授業時間外の学習に関して

質的研究の査読付き論文を常にリストアップして読む習慣をつけてください。お仕事をお持ちの方は、通勤途中やスキマ時間で構いません。

アクティブ・ラーニングのための工夫

対象	アクティブ・ラーニング	内容
*	(1)学生主体による学習形態の導入に関する工夫	ペアワーク、グループワーク、シグソー法、反転授業など
*	(2)学生が主体的に行う活動を導入する工夫	展示や作品の制作、調査、観察、実験、ロールプレイ、ゲーミング、プレゼンテーションなど
	(3)教員と学生の双方向性の確保、課題設定の工夫	コミュニケーションカード、レポート、演習など
	(4)ツールの活用に関する工夫	クリッカー、e-learningなど

授業における工夫

対象	その他の工夫
*	(1)ICTを活用した教育の導入
	(2)現代的課題への対応

成績評価の方法

リアクションペーパー（授業後の感想）50%、授業のレポート課題（50%）

テキスト

秋田喜代美 他 2007 はじめての質的研究法 教育・学習編 東京図書

参考書・参考資料等

サトウタツヤ 2019 質的研究法マッピング 新曜社

問い合わせ先e-mail

オフィスアワー

火曜日 17時～17時55分。集中講義のため事前に予約をとってください。

アクセシビリティ

大阪教育大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮が必要な場合は、担当教員または障がい学生修学支援ルームにご相談下さい。

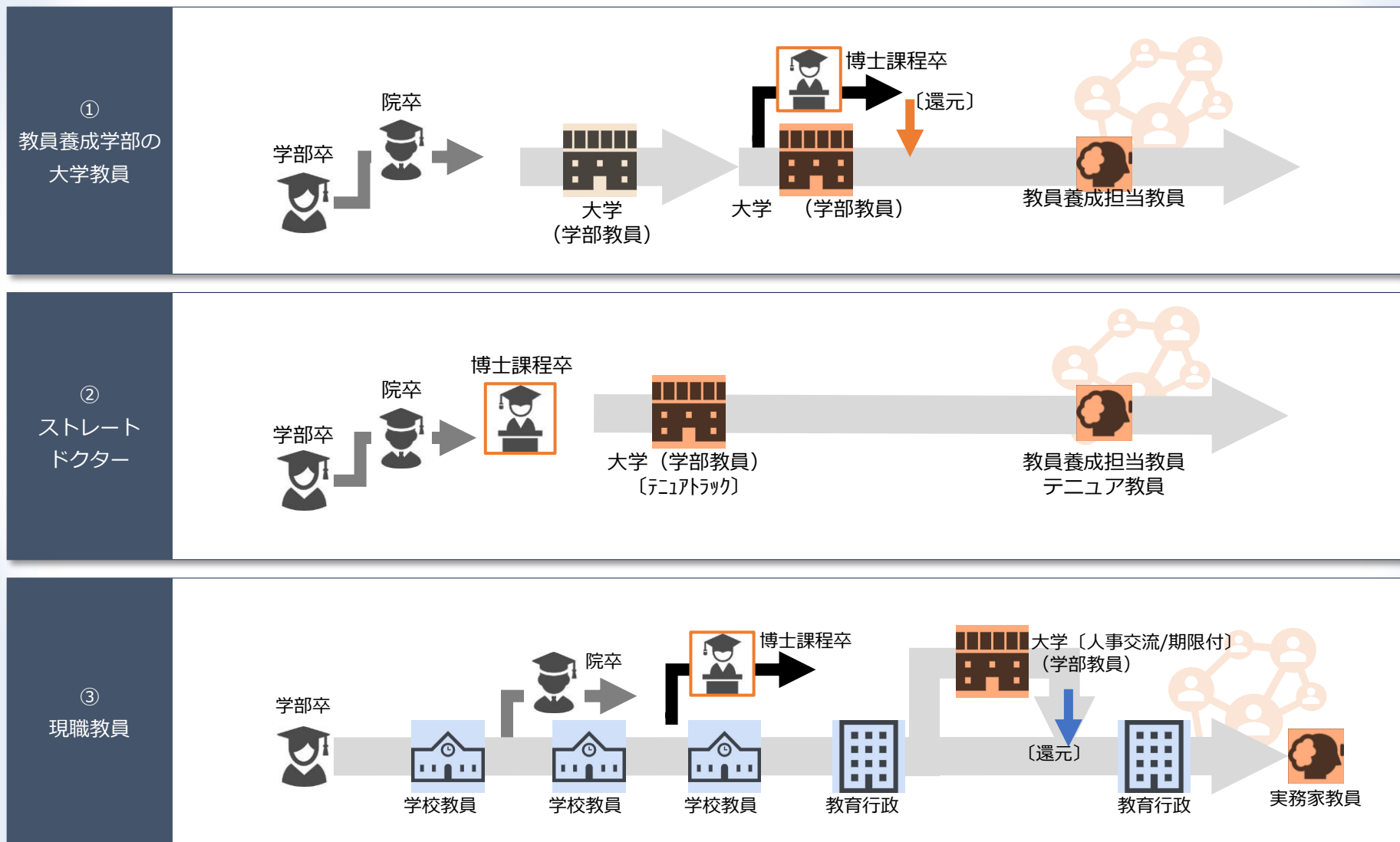
ダイバーシティの観点に配慮した授業づくり

大阪教育大学では、ダイバーシティの観点に配慮した授業づくり・授業展開（ユニバーサルデザイン化）の実現をめざしています。

資料7 育成する人材のキャリアパス

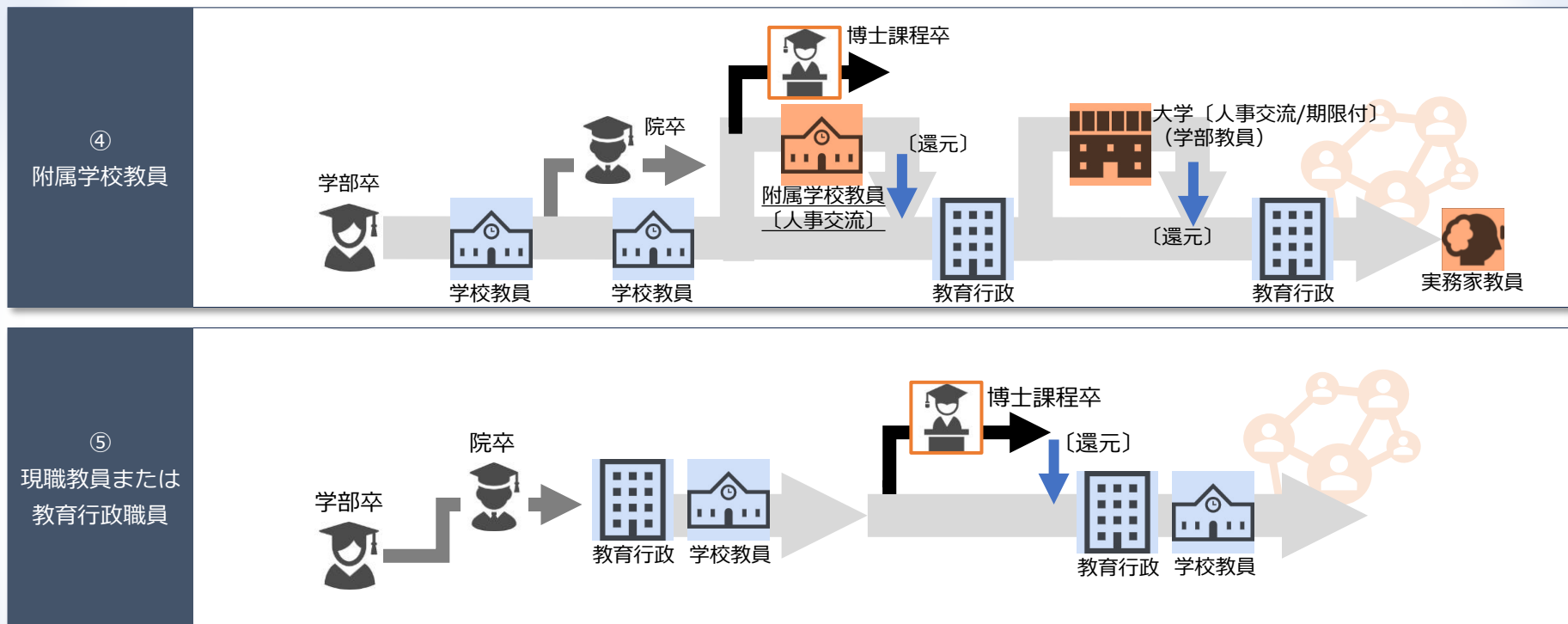
【①、②、③】

教育現場と大学（アカデミア）を往還し、教育臨床研究ネットワークの中で全国・地域の教育課題に対応し活躍できるキャリアパス



資料7 育成する人材のキャリアパス

【④、⑤】



資料 8 博士課程設置に係る教育委員会からの要望書

博士課程設置に係る教育委員会からの要望書

1. 北海道教育大学

- (1) 北海道教育委員会 2
- (2) 札幌市教育委員会 3

2. 大阪教育大学

- (1) 大阪府教育委員会 4
- (2) 大阪市教育委員会 5
- (3) 堺市教育委員会 6
- (4) 大阪府豊能地区 7
(豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町)

3. 福岡教育大学

- (1) 福岡県教育委員会 8
- (2) 福岡市教育委員会 9
- (3) 北九州市教育委員会 10

教 政 第 6 2 7 号
令和6年(2024年)1月11日

国立大学法人北海道教育大学長 様

北海道教育委員会教育長 倉 本 博 史

北海道教育大学大学院博士課程設置に係る要望について

日頃より、本道の教育行政の推進につきまして、格別の御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、近年、GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の活用や、特別な配慮・支援を必要とする子どもへの対応など、学校教育を取り巻く環境の変化に伴い、学校現場における実践は日々進化しており、貴学の教員養成課程において、教職経験を有する実務家の大学教員（以下、「実務家教員」という。）等の登用を進め、実務経験と教育理論を結びつけた大学教育の充実を図ることは、これからの本道教育を担う教員を養成する上で、極めて重要です。

こうした実務家教員の登用は、進化する学校現場における優れた実践や、働き方をはじめとした変化しつつある学校現場の状況などを学部生に伝えることなどにより学部生の教職への意欲を高めていくことや、研究者教員とともに現職教員向けの研修プログラムの高度化を進めることなど、教員の養成・採用・研修の一体的な推進にも寄与するものです。

また、学校現場と貴学の教員養成学部及び教職大学院、教員養成系博士課程との人材育成の好循環を実現し、実務家教員や本道の中核的な学校管理職、北海道教育委員会事務局において指導的な役割を担う人材等の戦略的な育成にもつながるものと考えています。

以上のことから、現在、貴学において構想している大学院博士課程の設置に関し、具体的に次のとおり要望します。

記

- 1 貴学及び大阪教育大学、福岡教育大学（以下、「3大学」という。）で共同設置を検討している大学院博士課程について、可能な限り早期に実現することを要望します。
- 2 3大学で共同設置する大学院博士課程では、3大学のこれまでの研究実績等を最大限に活かした教育プログラムによる実務家教員の養成を進め、教員養成学部・教職大学院における人材育成にも寄与していくことを要望します。
- 3 現職の教員等で大学院博士課程に修学する者の教育プログラムについては、将来、本道の中核的な学校管理職や、北海道教育委員会事務局において指導的な役割を担う人材としてキャリアアップすることを見据えた内容とすることを要望します。

(総務政策局教育政策課政策企画・教育計画係)

札教育第 211 号
令和 5 年 12 月 18 日

国立大学法人北海道教育大学
学長 田口 哲 様

札幌市教育委員会
教育長 檜田 英樹

北海道教育大学大学院博士課程設置の要望について

日頃から、札幌市教育委員会の事業の推進に関わりましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

札幌市が求める教員像として、「教育者として、強い使命感・倫理観と、子どもへの深い教育的愛情を、常にもち続けている教員」「教育の専門家として、実践的指導力や専門性の向上に、主体的に取り組む教員」「園・学校づくりを担う一員として、地域等とも連携・協働しながら、課題解決に取り組む教員」を掲げています。これは、教員としての基本的な姿を示すだけでなく、大学での教員養成や現職教員研修などの基盤となる姿として位置付けるものであり、昨今の学校現場の課題を踏まえつつ、これを実現するには、教員等の養成・採用・研修を一体的に充実させ、その資質の向上を図っていくことが極めて重要であると考えております。

現在、貴学においては、大阪教育大学及び福岡教育大学との共同によって、実践探究と学問探究の両方に軸足を置く「教育課題を臨床的に研究できる教育実践者」を養成する新しい大学院博士課程の設置に取り組んでおられます。

札幌市教育委員会といたしましては、前述の背景を踏まえ、教員等の養成・採用・研修を共に担う大学・教職大学院との連携・協働が不可欠であり、本構想は、教員養成並びに教員研修の高度化や各学校の校内研修・研究等の学校現場における日常的な学びに資するものと受け止めており、意義深いものと考えられますので、大学院博士課程の設置を要望いたします。

国立大学法人大阪教育大学

学長 岡本 幾子 様

大阪教育大学大学院博士課程の設置に際しての要望書
(大阪府教育委員会との連携強化について)

大阪府においては、学力向上をはじめ、小・中学校における一人ひとりの子どもたちの状況に応じた指導の充実、府立高校での志願者の二極化に加え、配慮や支援を必要とする子どもたちの増加への対応、いじめ・不登校やヤングケアラーなど課題を抱える子どもたちへの支援など、多様な教育課題への対応が急務となっております。このような課題に対しては、教職員、保護者のみならず、地域や企業をはじめとする多様な主体が関わり、それらの資源を最大限に活用して迅速・柔軟に対応することで、大阪の子どもたちの未来を拓く教育の実現をめざしています。

一方で、貴大学では、令和7年度に、北海道教育大学、福岡教育大学との共同により、実践探究と学問探究の両方に軸足を置く「教育課題を臨床的に研究できる教育実践者」を養成する新しい大学院博士課程の設置に向けて取り組んでおられ、これについては大阪府といたしましても有意義なことであると考えています。

つきましては、大学院博士課程の設置に当たっては、府教育委員会との連携をさらに深めるとともに、以下の点について検討を頂き、今後の大阪府全体の教育力向上に資するようお願いいたします。

1. 学部・教職大学院における教員養成・育成を通じた現職教員の資質向上
2. 教育行政の新たな課題への対応に資する人材の育成
3. 博士課程と行政、教育機関、企業、地域人材等の連携のもと、エビデンスに基づく教育施策の実現や、研修プログラムの開発

令和5年12月26日

大阪府教育委員会

教育長 橋本 正司

国立大学法人
大阪教育大学長 様

大阪教育大学大学院博士課程設置並びに
合築施設を活用した連携推進に関する要望書

本市においては、学力向上や子どもの貧困、不登校、外国につながる児童・生徒への支援など、多様な教育課題への対応が急務となっております。変化の目まぐるしい時代にあつて、これからの教員には、不易な資質能力に加え、新時代に求められる授業力や今日的教育課題に対応できる多様な専門性、効果的な解決にむけた組織的・協働的な実行力が求められるといえます。

これまで、大学と連携した研修の開発・実施や現職教員の教職大学院派遣等を通して、今日的教育課題への対応力や、実践的指導力を身に付けたミドルリーダー・管理職の育成を進めてまいりました。

多様な教育課題に対して効果的なアプローチが可能となるよう、理論に基づき実践的解決に導くことができる人材が今後ますます必要になると考えております。

折しも、貴大学では、令和7年度に、北海道教育大学、福岡教育大学との共同により、実践探究と学問探究の両方に軸足を置く「教育課題を臨床的に研究できる教育実践者」を養成する新しい大学院博士課程の設置に取り組んでおられます。

本市といたしましては、本構想は、現職教員の資質向上や、教育行政の新たな課題への対応の後ろ盾になる、意義の深いものと考えており、設置を要望します。

同課程の運営を通じて、学校現場をフィールドとした臨床的研究による本市の課題解決や、学部・教職大学院における教員養成・育成を通じた教員の質の保証にも効果を波及されることを期待します。

令和6年度には本市と合築で建設する「みらい教育共創館」が開設されます。

同館を拠点として、多様な機関・人材との連携のもと、学校現場の実践を基軸とする研究の推進、エビデンスに基づく教育施策の実現、効果的な教員養成プログラムの開発等に取り組み、早期から実践力のある質の高い人材育成を図り、本市教員の資質向上や教育課題の解決につながるよう、一層の連携推進をいただくことを要望します。

令和5年12月19日

大阪市教育委員会
教育長 多田 勝哉

国立大学法人
大阪教育大学長 殿

大阪教育大学大学院博士課程設置に関する要望書

本市においては、学力向上、Society5.0の実現に向けた情報活用能力や価値を創造する力の育成、特別支援教育等の質の向上をはじめ、少子化の進行、グローバル化の進展、子どもの貧困、ダイバーシティ教育へ対応など多様な教育課題への対応が急務となっています。このような課題に対し、本市では、教育が社会の変化を生み出すという強い意志をもって、これまでの取組の状況、現状と課題をふまえ、学校・家庭・地域等がより一層連携・協働し、新たな時代に対応した取組を推進しています。

こうした取組をふまえ、本市では、さらに教育課題への効果的なアプローチが可能となるよう、理論に基づき実践的解決に導くことができる人材が必要であると考えています。

折しも、貴大学では、令和7年度に、北海道教育大学、福岡教育大学との共同により、実践探究と学問探究の両方に軸足を置く「教育課題を臨床的に研究できる教育実践者」を養成する新しい大学院博士課程の設置に取り組んでおられます。

本市といたしましては、本構想は、現職教員等の資質向上や、教育行政の新たな課題への対応に強力な後ろ盾になるものと受け止めており、意義の深いものと考えられますので、大学院博士課程の設置を強く要望します。

同課程の運営を通じて、学校現場をフィールドとした臨床的研究による課題解決による教員の教育力の向上にも効果を波及することを期待します。

併せて、天王寺キャンパスに建設予定の「みらい教育共創館」を拠点として、同課程と行政、教育機関、企業、地域人材等の連携のもと、エビデンスに基づく教育施策の実現や、研修プログラムの開発に取り組むことを要望します。

令和5年12月20日

堺市教育委員会
教育長 栗井 明彦



大阪教育大学大学院博士課程設置に関する要望書

国立大学法人 大阪教育大学
学長 岡本 幾子 様

学力向上をはじめ、いじめ防止、Society5.0の実現に向けた情報活用能力の育成、ダイバーシティ教育、インクルーシブ教育等への対応など、多様な教育課題への対応が急務となっております。このような課題に対しては、教職員、保護者のみならず、地域や企業をはじめとする多様な主体が関わり、それらの資源を最大限に活用して迅速・柔軟に対応することで、子どもたちの未来を拓く教育の実現をめざしています。また、こうした多様な課題に対し、効果的なアプローチが可能となるよう実践を理論に照らしながら解決に導くことができる人材の確保が重要となっております。

折しも、貴大学では、令和7年度に、北海道教育大学、福岡教育大学との共同により、実践探究と学問探究の両方に軸足を置く「教育課題を臨床的に研究できる教育実践者」を養成する新しい大学院博士課程の設置に取り組んでおられます。

本構想は、現職教員の資質向上や、教育行政の新たな課題への対応に強力な後ろ盾になるものと受け止めており、意義の深いものと考えられますので、大学院博士課程の設置を強く要望します。

同課程の運営を通じて、学校現場をフィールドとした臨床的研究による課題解決や、学部・教職大学院における教員養成・育成を通じた教員の質の保証にも効果を波及することを期待します。

併せて、天王寺キャンパスに建設予定の「みらい教育共創館」を拠点として、同課程と行政、教育機関、企業、地域人材等の連携のもと、エビデンスに基づく教育施策の実現や、研修プログラムの開発に取り組むことを要望します。

令和6年(2024年) 1月 12日

豊中市教育委員会



池田市教育委員会



箕面市教育委員会



豊能町教育委員会



能勢町教育委員会



5教義第1764号
令和6年1月9日

国立大学法人福岡教育大学長 殿

福岡県教育委員会教育長



福岡教育大学大学院博士課程設置に関する要望書

昨今、福岡県においては、不登校児童・生徒の増加、外国にルーツのある児童・生徒の急増、特別支援学級在籍児童・生徒の急増など、多様な教育課題への対応が急務となっております。また、近年、大量退職・大量採用の影響を受け、管理職や中堅教員の指導力のさらなる向上が課題となっております。

こうした状況を踏まえ、本県ではこうした多様な課題に対し、効果的なアプローチが可能となるよう研究を推進すると共に、エビデンスに基づき研究に取り組める人材が必要であると考えております。

こうした中、貴大学では、令和7年度に、北海道教育大学、大阪教育大学との共同により、実践探究と学問探究の両方に軸足を置く「教育課題を臨床的に研究できる教育実践者」を養成する新しい大学院博士課程の設置に取り組んでおられます。

本県といたしましては、本構想は現職教員の資質能力や教育行政の新たな課題への対応に強力な後ろ盾になるものと受け止めており、意義の深いものと考えられますので、大学院博士課程の設置を強く要望します。

同課程の運営にあたっては、「共同ネットワークラボ」により、福岡県における教育課題の解決に資する臨床的研究の展開、さらには、博士課程教育への参画により、学部・教職大学院における教員養成にも効果を波及することを期待します。

科教1第453-1号
令和5年12月26日

国立大学法人福岡教育大学長 殿

福岡市教育委員会
教育長 石橋 正信



福岡教育大学大学院博士課程設置に関する要望書

昨今、福岡市においては、いじめ・不登校等の未然防止・早期対応、特別な支援を必要とする児童生徒数の増加など、多様な教育課題への対応が急務となっております。

こうした状況を踏まえ、本市では、教育養成・育成に対する学識を備えた人材に加え、多様な課題に対し効果的なアプローチが可能となるよう研究を進め、学校現場等に知見を還元できる人材が必要であると考えております。

こうした中、貴大学では、令和7年度に、北海道教育大学、大阪教育大学との共同により、実践探究と学問探究の両方に軸足を置く「教育課題を臨床的に研究できる教育実践者」を養成する新しい大学院博士課程の設置に取り組んでおられます。

本市といたしましては、本構想は教育行政の新たな課題への対応に強力な後ろ盾になるものと受け止めており、意義の深いものと考えられますので、大学院博士課程の設置を強く要望します。

北九教教第1581号
令和5年12月28日

国立大学法人福岡教育大学長 殿

北九州市教育委員会
教育長 田島 裕美



福岡教育大学大学院博士課程設置に関する要望書

昨今、北九州市においては、いじめ・不登校等の未然防止・早期対応、特別な支援を必要とする児童生徒数の増加など、多様な教育課題への対応に加え、近年の教員の大量退職・大量採用の影響を受け、管理職のマネジメント能力の更なる向上が急務となっております。

このような状況を踏まえ、本市では、多様な課題に対し、効果的なアプローチが可能となるよう研究を進めるとともに、学校現場等において主体的に課題解決に取り組むことができる人材が必要であると考えております。

こうした中、貴大学では、令和7年度に、北海道教育大学、大阪教育大学との共同により、実践探究と学問探究の両方に軸足を置く「教育課題を臨床的に研究できる教育実践者」を養成する新しい大学院博士課程の設置に取り組んでおられます。

本市といたしましては、本構想は教育行政の新たな課題への対応に強力な後ろ盾になるものと受け止めており、意義の深いものと考えられますので、大学院博士課程の設置を強く要望します。